

# はじめに

## 正夫さん一家の場合

### ◆どうすりゃいいぞら

「最近おばあちゃんちょっとぼけてきた感じね」

「そうだなあ、同じこと何度も言うし、物忘れがひどくなったかな」

「この前ね、からのお鍋を火にかけていたから、びっくりしちゃったわ」

「そりゃ困ったなあ。おれたち昼間仕事に出てるし、子供もそれぞれ勤めだし、かといってひとりにしとくのはちょっと心配だなあ。しょうがねえ、妹にでも頼んでみるか。」

さて翌日。

「そうは言われても兄さん、実は話してなかったけど、うちの子ちょっと不登校気味でね、困っちゃってるのよ。昼間そっちへ行っておかあさんを見てろって言われても無理な話だわ」

「そうか、困ったなあ。どうすりゃいいぞら」

### ◆そりゃあ、おめさん、あそこへ行ってみな

寄り合いの席で。

「いやあ、困っちゃったよ、どうすりゃいいぞら」

「そりゃ正夫さ、あそこのほれ、サービスセンターへ行ってみるっちゅうもんじゃねえかえ」

「ほー」

「こう見えてもよ、おらあボランティアやってるだが、センターへ出入りして見るとよ、あそこの職員は何でも親切に相談に乗ってくれるぜ。毎日いろんな人が相談に来てくくらいだからよ」

「あの保健福祉サービスセンターっちゅうやつか。今まではうちとは関係ねえと思ってただが……。じゃあ、あしたにでも早速行ってみるか」

### ◆来てもらっていいかね

「まずは電話でもしてと思ったんだが」

「お困りの内容はだいたい分かりました。あさっての夕方お伺いして詳しくお話を聞いたり、おばあちゃんにもお会いしたいのですが……」

「そりゃいいが、わざわざ来てもらっていいかね」

「その方が様子もよくわかりますので」

「じゃあ待ってるで、お願いします」

### ◆風呂へ入り、お茶を飲むばあちゃん

サービスセンターの職員が詳細な調査から解決策を考えてくれました。

正夫さん夫婦が仕事をやめないでも、安心してばあちゃんが家で過ごせる方法。しかもどうせ家にいるなら楽しく、にこにここと。

週に2回、保健福祉サービスセンターのデイサービスへ。車で送迎してもらい、一日楽しく過ごします。ここでのばあちゃんの楽しみは昔の同級生と会うことと、大きなお風呂に入ること。

家族のいない平日のお昼はヘルパーさんの作る手料理、それと日によっては温かい給食サービス。地区の郵便局の職員さんは近くを通るたびに顔を出してくれます。

何といっても午後のお楽しみは、近所の人々がやってきていっしょにお茶を飲みながらのおしゃべり。小さい頃を知っている近所の人、あかちゃんを抱いたお嫁さん（ときどき育児の相談に乗っちゃったりします。多少ぼけたと周りが思っている今のはあちゃんなら、昔とったきねづか、ちゃんと相談にも乗れるのです）。

土曜日の午後はにぎやかな声とともに近所の子どもたちがやってきて、手を引っ張って地元の公民館でのミニデイサービス。ここで知り合いになった子どもたちがときどき学校帰りに寄っていくようになり、ばあちゃんはいつもお菓子を用意して待っています。

「よかったわ、おばあちゃん、最近ちょっとしっかりしてきて、足腰も少し元気になったようだし・・・」

「おお、そうだなあ。きのう道で例のサービスセンターの人に会ってなあ『最近どうですか』って聞かれたよ。こうこうだよって言ったら『またいずれお伺いします』って言ってくれたよ。それにありがたかったのは、妹んとこの担当のサービスセンターへ連絡をしてくれて、おいっこの不登校についても専門家を紹介してくれたってよ」

「ジュースか何かないかえ、隣のよしおちゃんが友だちをつれて遊びにきてくれただが」

「あらおばあちゃん、ちょっと待っててね、いま用意するわ」

## ◆福祉21ビーナスプランと保健福祉サービスセンター

正夫さん一家、それと妹さんの家庭の問題を解決するため活躍したのは、保健福祉サービスセンターの地域福祉推進員（コーディネーター）。地域の皆さんの問題を積極的に、全体的に解決するよう働きます。

地域福祉推進員（コーディネーター）の仕事は多様です。このような困りごとの解決から、いろいろな問い合わせ、申請の受け付け、苦情への対応、地域の住民の主体的な活動の支援、地域での広報活動など、地域の福祉力を高め、住んでよかった茅野市を創るために先頭に立ってがんばります。

福祉21ビーナスプランは、茅野市を4つの保健福祉サービス地域（エリア）に分け、それぞれの保健福祉サービス地域（エリア）に保健福祉サービスセンターを設置し、地域福祉推進員（コーディネーター）を配置して、

- ・子どもや子育ての問題
- ・障害のある方々の問題
- ・高齢者の問題
- ・地域住民の皆さんの自主的な活動の課題、生涯学習・福祉教育の問題

など、地域の福祉に関する問題・課題の発見と解決に向けて、住民の皆さんと二人三脚で取り組んでいく茅野市のこれからのあり方についてまとめたものです。